

目で見る 篠田悪水

篠田悪水土地改良区のおゆみ



篠田悪水土地改良区

治水之碑



篠田悪水普通水利組合が発足後間もない明治40年にたてた (36ページ参照)

目次

発刊にあたって	篠田悪水土地改良区 理事長 近藤 隆	1
発刊を祝して	愛知県土地改良事業団体連合会会長 参議院議員 吉川 博	2
発刊に寄せて	愛知県海部農地開発事務所 所長 光岡史郎	3
篠田悪水土地改良区の概観		6
1. 篠田悪水土地改良区の誕生		8
新時代を告げる土地改良法		
普通水利組合から土地改良区へ組織変更		
組織変更にあたった海部郡水利組合事務所		
2. 美宝耕地整理組合との合併		11
組合内組合だった美宝耕地整理組合		
合併の焦点は排水機場の移管だった		
3. (地盤変動対策事業)		
最初の排水事業～ポンプ場増設と遠島・安松の加入		15
部落期当で行われた排水路改修		
南排水機場に60馬力のポンプ増設		
篠田悪水はじめての区域拡大 遠島・安松の加入		
本折独自で建設した本折排水機場		
4. (県営湛水防除事業)		
篠田排水機場の建設と促進協議会		20
立地条件の変化と篠田排水機場の建設		
篠田湛水防除事業促進協議会の設立		
消滅した古い大切戸川の河道		
(県営湛水防除事業)		
5. 沖ノ島・遠島二重加入の解消		26
複雑なデルタの排水体系		
沖ノ島・遠島の二重加入とその解消		
6. (小規模かんがい排水事業)		
中部・捨川幹線の改修と自動水中ポンプの設置		28
灌防関連の水路改修の延長 中部・捨川幹線水路		
時代の変化に即応する自動水中ポンプの設置		
理性の勝利 賦課金の平等化		
7. (蟹江川河川災害復旧合併事業)		
支え切れない蟹江川 拡張工事と自然排水樋門の消滅		32
蟹江川の豪運 人工排水河川整備の歴史		
蟹江川の決壊と拡張工事		
190年余におよぶ自然排水樋門の終焉		
8. (河川激甚災害対策特別緊急事業)		
川の水を汲み上げる 蟹江川・日光川排水機場		38
人間ははたして水を制するか?		
9. (第2期県営湛水防除事業)		
篠田第2排水機場の建設		40
地盤沈下と地蔵の変化		
空からみた昭和20年と平成2年の改良区		48
篠田悪水土地改良区管内図		52
篠田悪水土地改良区年表		54
篠田悪水土地改良区歴代役員		56
改良区内の史蹟と文化財		58
あとがき		60
篠田悪水のよもやま話		63

ずかな資料によると、最終的には、美宝に加入していなかった二ツ寺・古道・富塚の3字が、「加入費」として10万円を払うことで、ようやく合意が得られたようです。

なお、賦課金については、通常賦課金と機械排水費の二本立とし、機械排水費は、地域ごとに厚薄をつけた美宝時代の負担歩合を踏襲することになりました。ただ、美宝では1～3等地の3段階だったものを、改良区は1段階ふやして1～4等地の4段階としたようです。

昭和27年11月28日、排水機などの引継ぎの内容を含んだ改良区の新しい定款と、事業計画の変更が認可されて合併は正式に成立し、美宝耕地整理組合は20数年にわたるその歴史に幕をおろしました。

美宝耕地整理組合から引き継いだ排水機場と囲堤



北排水機場 第2排水機場の建設で撤去された



南排水機場 右が美宝からうけついで排水機場。左は増設されたもの



北排水機場内部
珍しいあの口式ポンプとモーター。今は移設され、対岸の美和町中央児童館の前に展示されている



南排水機場の立軸輪流ポンプ
左側がスルース・ゲート

■南・北排水機場仕様

	南排水機場	北排水機場
型式	立型軸流ポンプ	渦巻ポンプ
口径	45吋 (1,140mm)	35吋 (889mm)
揚程	6.57メートル (1.98m)	7.27メートル (2.29m)
排水量	2.2m ³ /sec	1.5m ³ /sec
製造会社名	西島製作所 (大正15年)	荏原製作所 (大正15年)
馬力	70馬力	65馬力
製造会社名	鳥羽電機製作所 (大正15年)	株式会社明電舎 (大正15年)



花長裏圍堤 左が花長の用水路、右が二ツ寺の排水路。
真中の堤はもっと高かった。この堤をはさんで両方の集落が争った (美和町大字花長裏より西を望む 昭和61年4月撮影)